

野田市郷土博物館及び野田市市民会館指定管理者候補者
選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成29年2月15日（水）午後4時30分から午後4時50分まで
開催場所 市役所 5階 512会議室
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、生涯学習部長、
行政管理課長、管財課長
欠席委員 なし
事務局 社会教育課、行政管理課

1 開会

＜委員長より開会の言葉＞

2 議事

平成28年度（4月～12月）野田市郷土博物館及び野田市市民会館業務報告書の審査について

＜事務局より平成28年度（4月～12月）野田市郷土博物館及び野田市市民会館業務報告書について説明＞

＜審議の概要＞

○ 年報・紀要の発行を含め、業務は着実に実施されているのか。

→ 年報・紀要については、現在、校正作業中で、3月25日までには納品され、今年度中の発行を予定している。そのほかの業務についても仕様書に基づき実施されている。

○ コスプレ撮影の利用者が増えたのは、どのような背景からで、どのようなコスプレが多いのか。また、利用しやすい点はどのようなところと利用者から聞いているか。そのほか、他の利用者への影響はないか。

→ 多いコスプレは、和装系の衣装をまとうアニメやゲームのキャラクターを題材としたものである。

コスプレ利用者の増加の背景には、SNSによる撮影場所の情報の拡散及び市民会館の利用のしやすさがあると考えられる。

コスプレ利用者は撮影した写真をSNSに投稿することが多く、その投稿を、同じジャンルのコスプレを行う方がフォローすることで情報が拡散したり、愛好家同士の口コミ等で情報が拡散することが考えられる。

また、コスプレ利用者にとって市民会館が利用しやすいということもある。名所、旧跡や文化財の中には、雰囲気にとぐわれないなどの理由からコスプレ撮影を

禁止している場所も多く、撮影を行うことができる場所は限られているのが現状のようだが、市民会館は禁止しておらず、趣のある和風建築という市民会館の特徴も、コスプレ利用者増加の一因と考えられる。都内にも専門の撮影スタジオ等は存在するが、和風建築や同様のシチュエーションを備えた施設は少ないようである。

他の利用者へ影響を与えるような事案は、現在のところ発生していない。

○ 野田市内ガイド事業について、利用者は何人で、増加しているのか。また、案内の希望が多い施設は何か。

→ 今年度の野田市内ガイド事業の利用者は、12月末の時点で3,787人となっており、昨年度の同時期の2,462人と比較すると、1,325人増加している。案内の希望が多い施設は郷土博物館及び市民会館だが、野田市内は内部の見学が可能な施設が少ないため、醤油関係や野田のまちなかなど、特定のテーマやエリアを希望される方が多い。

○ 春風館道場との連携について、駐車場の供用利用、春風館に見学希望者があった場合の対応、春風館道場主催の武道講演会の会場面での協力とあるが、その他に連携したものはあるか。また、今後どのように連携を充実させようとしているのか。

→ 今年度に予定している連携事業は、春風館道場への野田の武道家紹介パネルの追加である。これは、「武術の殿堂」という春風館道場の位置付けを鑑み、春風館の持つ武道に対する蓄積と、郷土博物館の持つ展示能力という双方の強みをいかした連携事業で、野田市の武道の発展に貢献した人々を顕彰することで、青少年の健全な育成及び市民の体育振興に寄与することを目的とした取組である。

今後は、平成29年度から実施予定の地域づくりネットワークの構築事業の枠組みの中で、他施設も含めた連携の充実を図ることを考えている。

○ 行政との連携について、市史編さん担当、公民館、図書館等と施設と情報交換を行ったとあるが、具体的な内容は何か。また、そのほかの連携についての内容も教えてほしい。

→ 市史編さん担当については、平成28年度特別展の「染谷亮作展」及び平成29年度に開催予定の鉄道に関する特別展に関して情報交換を行った。公民館については、「染谷亮作展」の開催に合わせ、川間公民館の主催講座として「川間の歴史・染谷亮作を知る」が開催され、郷土博物館の学芸員が講師を務めるとともに、特別展の見学を行い、展示の説明をした。そのほか、野田公民館で活動している鉄道模型サークルについての問合せ、イベントチラシ等の設置を行った。図書館については、イベントチラシ等の設置の依頼をした。

○ ミュージアムグッズの販売について、在庫の状況及び今後の開発計画はどうか。
→ 12月末の在庫の状況で、土偶のミミーストラップが68個、書籍「公立博物館をNPOに任せたら」が10冊、山中直治童謡曲集CDが324枚、野田かるたが15個、ドグウのミミーカンバッジが33個、絵はがきが6,451枚である。今後の開発予定は、「ドグウのミミーマグネット（土器 ver.）」を予定しており、デザイナーにデザインを依頼中である。

○ 防災対策について、消防訓練はどういう内容を行ったのか。
→ 6月に部分訓練として、火災を想定した避難誘導訓練、水消火器による初期消火訓練、消防署への通報訓練、学芸員による重要書類持ち出し訓練を実施した。訓練には、職員、博物館ボランティア及びむらさきの里野田ガイドの会から、合計28人が参加した。

○ 常勤学芸員の採用予定はあるのか。
→ 平成29年1月から非常勤で雇用している学芸員補助を4月に正職員として採用予定である。

○ 正職員の人件費が決算見込みで約63万円の減となっているが、9月に退職したのにこれだけの減か。
→ 学芸員が退職した影響でほかの職員の時間外勤務が増えたことによるものである。

○ 非常勤職員の人件費の増の理由として学芸員補助を追加で雇用しているためとあるが、10月に雇用した学芸員補助は月40時間勤務でこれほどの増額となるのか。
→ 1月から雇用の学芸員補助の勤務時間がより長いからである。

○ 市民会館の貸部屋利用団体数は約20%増であるのに対し、利用料金収入が約50%増となっている理由は何か。
→ 増加した約20%の団体の大半がコスプレ撮影での利用であり、その大半が、利用料金が2倍となる市外の利用者であるためと考えている。

<審議の結果>

平成28年度（4月～12月）野田市郷土博物館及び野田市市民会館業務報告書について、承認

3 閉会